

決 算 報 告 書

平成25年度 決算報告書

国立大学法人広島大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	27,667	30,284	2,617	(注1)
施設整備費補助金	4,603	4,635	32	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	2,464	3,652	1,188	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	110	110	0	
自己収入	35,871	36,242	371	
授業料、入学料及び検定料収入	8,600	8,545	△ 55	(注4)
附属病院収入	26,765	27,043	278	(注5)
財産処分収入	0	4	4	(注6)
雑収入	506	650	144	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	4,893	5,405	512	(注8)
引当金取崩	396	310	△ 86	(注9)
長期借入金収入	5,010	4,130	△ 880	(注10)
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	1,514	1,091	△ 423	(注11)
計	82,528	85,859	3,331	
支出				
業務費	63,783	63,801	18	(注12)
教育研究経費	34,958	34,435	△ 523	
診療経費	28,825	29,366	541	
施設整備費	9,724	8,875	△ 849	(注13)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	2,464	3,662	1,198	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	4,937	5,301	364	(注15)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	1,620	1,537	△ 83	(注16)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	3	3	(注17)
計	82,528	83,179	651	
収入 - 支出	-	2,680	2,680	

○ 予算と決算の差異について

- (注 1) 運営費交付金の決算額には、前年度からの繰越金を計上したことにより、予算額に比して2,617百万円多額となっています。
- (注 2) 施設整備費補助金は、予算段階で予定していた計画の変更による減の一方で、国の補正予算の措置により、予算額に比して決算額が32百万円多額となっています。
- (注 3) 補助金は、国からの補助事業獲得など応募申請に努めたことにより、予算額に比して決算額が1,188百万円多額となっています。
- (注 4) 授業料、入学料及び検定料収入については、大学院課程に係る授業料が減少したこと等により、予算額に比して決算額が55百万円少額となっています。
- (注 5) 附属病院収入については、新診療棟の手術室増加に伴う手術件数の増加や、75対1急性期看護補助体制加算の50対1への変更等の加算項目の見直し等により、予算額に比して決算額が278百万円多額となっています。
- (注 6) 財産処分収入については、予算段階の見込みと比して増となったことにより、決算額が4百万円多額となっています。
- (注 7) 雑収入については、主として会計処理変更による増(ひまわり保育園保育料の保育料収入計上)及び病院医業外収入等の増により、予算額に比して決算額が144百万円多額となっています。
- (注 8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究や科研費等の獲得及び受入額の増により、予算額に比して決算額が512百万円多額となっています。
- (注 9) 引当金取崩については、予算段階の見込より少なく取り崩しを行ったため、予算額に比して決算額が86百万円少額となっています。
- (注10) 長期借入金収入については、予算段階で予定していた計画の変更により、予算額に比して決算額が880百万円少額となっています。
- (注11) 目的積立金取崩については、予算段階で予定していた計画の変更により、予算額に比して決算額が423百万円少額となっています。
- (注12) 業務費については、管理的経費及び人件費の支出減等による教育研究経費減の一方で、新診療棟竣工に伴う医療機器整備等による診療経費増等によって予算額に比して決算額が18百万円多額となっています。
- (注13) (注 2)及び(注 10)に示した理由により、予算額に比して決算額が849百万円少額となっています。
- (注14) (注 3)に示した理由により、予算額に比して決算額が1,198百万円多額となっています。
- (注15) (注 8)に示した理由により、予算額に比して決算額が364百万円多額となっています。
- (注16) 長期借入金償還金については、予算段階では把握できなかった借入利率の確定により、予算額に比して決算額が83百万円少額となっています。
- (注17) (注 6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が3百万円多額となっています。